（別紙２）

# 令 和 2 年 度 圏 域 活 動 状 況 報 告 等

| 圏　域　名 | 駿東田方 |
|---|---|
| 活動状況・成果 | 1.研修事業<br>(1) リハビリテーションの活用に係る多職種連携<br>駿東田方圏域における医療職及び介護職等の多職種連携強化及び地域リハビリテーション推進を目的とした研修会の開催<br>【沼津リハビリテーション病院】<br>日　時:令和２年 11 月 11 日(水)14:00～15：30<br>テーマ:地域におけるリハビリテーションとは何？<br>～地域で働く多職種を知ろう～<br>司　会:深沢康久氏(静岡県介護支援専門員協会　副会長)<br>ﾊﾟﾈﾘｽﾄ:佐藤智道氏(沼津市長寿福祉課　基幹型包括支援センター)<br>松川香織氏(静岡県訪問看護ステーション協議会　理事)<br>山口宜子氏(沼津薬剤師会 副会長)<br>一ノ宮五郎氏(沼津市介護支援専門員連絡協議会　会長)<br>小林聖子氏(静岡県ホームヘルパー連絡協議会　会長)<br>池谷広美氏(静岡県栄養士会　地域活動事業部　理事)<br>竹 内 基 氏(沼津リハビリテーション連絡協議会　副会長)<br>場　所:ピット 28 または Web 受講<br>参加者:66 名(会場 44 名・Web22 名)＋運営ｽﾀｯﾌ 6 名　合計 72 名<br>参加職種:理学療法士・介護支援専門員・薬剤師　ほか<br>(2) 介護サービスにおけるリハビリテーションの視点導入促進<br>駿東田方圏域における介護職向けのリハビリテーションの視点導入促進を目的とした研修会の開催<br>【NTT 東日本伊豆病院】<br>開催方法:資料配付<br>配付時期:令和３年３月 12 日(金)～令和３年３月 19 日(金)<br>テーマ:訪問リハビリテーションのゴールとは<br>～『本人が納得した生活」を獲得するためには～<br>講　師:植松雅敏氏(NTT 東日本伊豆病院　理学療法士)<br>参加者:20 名<br>参加職種:ケアマネジャー・理学療法士・社会福祉士<br>【リハビリテーション中伊豆温泉病院】<br>日　時:令和３年３月 23 日(水)<br>テーマ:装具難民について～リハ専門職にできる事～<br>講　師:藤原潤氏(中伊豆温泉病院　理学療法士)<br>尾田健太氏(中伊豆温泉病院　理学療法士)<br>高木淳氏(訪問看護ステーションまりん　理学療法士) |

| | |
|---|---|
| | 場　所:三島市文化会館ゆうゆうホールにてWeb配信<br>参加者:75名<br>参加職種:ケアマネジャー・支援員・理学療法士<br><br>【中伊豆リハビリテーションセンター】<br>日　時:令和2年12月28日(月)13:00～令和3年1月31日(日)23:59<br>テーマ:デイサービス事業所に対するリハビリテーションの視点導入について ～事業所への介入報告(アセスメント・プログラム立案・加算算定)～<br>協力施設:デイサービスせせらぎ<br>開催方法:動画視聴<br>参加者:79名<br>参加職種:介護支援専門員・介護福祉士・ヘルパー　ほか<br>(3)リハビリテーションの視点を導入したケアプラン作成モデル<br>駿東田方圏域内の市町村又は地域包括支援センターと協働し、リハビリテーション専門職によるケアプラン作成支援<br>【フジ虎ノ門整形外科病院】<br>第1回:令和2年7月7日(火)<br>研修内容および実施方法を協議<br>第2回:令和2年9月25月(金)<br>昨年実施したリハビリテーションサマリーのアンケート結果を踏まえ、サマリーのブラッシュアップに資する取り組み内容を協議<br>第3回:令和2年10月<br>令和2年度上半期に関係機関へ発送したサマリーデータ収集<br>第4回:令和2年11月<br>令和2年度上半期に関係機関へ発送したサマリーデータ収集<br>第5回:令和2年12月4日(金)<br>活動内容に関する検討会議<br>現在、次年度の発表に向け活動継続中<br>(4)障害者や児童など高齢者以外の分野に関するリハビリテーションの推進<br>駿東田方圏域における障害者や児童など高齢者以外の分野に関するリハビリテーションに係る研修会の開催<br>【小児発達障害研修会/フジ虎ノ門整形外科病院】<br>日　時:令和2年12月14日(月)～令和2年12月21日(月)<br>テーマ:地域や学校における発達支援について<br>講　師:伊藤信寿(聖隷クリストファー大学リハビリテーション学部作業療法学科教授　作業療法士)<br>開催方法:書面配付 |

| | |
|---|---|
| | 参加者:52 名<br>参加職種:指導員・保育士・放課後児童クラブ支援員　ほか<br>【高次脳機能障害研修会/中伊豆リハビリテーションセンター】<br>日　時:令和 2 年 12 月 28 日(月)13:00～令和 3 年 1 月 31 日(日)23:59<br>テーマ:高次脳機能障害研修会<br>～高次脳機能障害の理解、支援制度について～<br>講　師:生田純一(中伊豆リハビリテーションセンター　作業療法士)<br>大村真也(中伊豆リハビリテーションセンター　作業療法士)<br>開催方法:動画視聴<br>参加者:102 名<br>参加職種:介護支援専門員・介護福祉士・ヘルパー　ほか<br>2.地域の関係機関からなる連絡協議会の設置・運営<br>(1)駿東・田方地域リハビリテーション強化推進事業連絡協議会<br>日　時:令和 2 年 8 月 5 日(水)14：30～16：00<br>場　所:プラサヴェルデ　407 会議室<br>参加者:10 団体(圏域内の歯科医師会・社会福祉士会・理学療法士会<br>ほか)22 名<br>・会議内容<br>静岡県地域リハビリテーション推進事業について、令和元年度事業実施報告について、令和 2 年度事業計画について、地域リハビリテーションの動向について<br>※各団体における地域リハビリテーションの取組と課題<br>(2)駿東・田方地域リハビリテーション強化推進事業実務者連絡会<br>内　容:全 4 回実施（事業の進捗状況の協議・確認）<br>参加者:圏域内 5 病院、東部・御殿場健康福祉センター担当者<br>場　所:静岡県東部総合庁舎・Web 会議<br>3.リハビリ専門職の派遣調整<br>第 1 四半期:派遣依頼受理件数/5 件・派遣実績件数/2 件<br>第 2 四半期:派遣依頼受理件数/4 件・派遣実績件数/4 件<br>第 3 四半期:派遣依頼受理件数/4 件・派遣実績件数/2 件 |
| **課題・問題点** | (1)感染症流行に伴い、研修会の開催方法の検討、実施、設備準備に苦慮した。今後も現場研修のみならず、ICT を活用した開催が標準化する事が見込まれるなか、web 研修開催のノウハウについて、支援センター間で格差が生じているため、統一した方法の確立が必要と考える。<br>①情報端末等の備品の整備について、検討が必要。<br>②発信方法として、県のホームページ（ふじのくにネット）を活用しての動画配信の可能性についてもご検討いただきたい。<br>(2)事業実施による効果の明確化<br>事業実施による効果の可視化・数値化を行い、各圏域でのニーズや問題点を把握し、より具体的な支援・取り組に繋げていく。 |

| | |
|---|---|
| | (3) リハビリ専門職派遣調整では、既に派遣ルートが確立されている市町から派遣依頼の問合せ、派遣依頼書・実績報告書用紙の問合せが多数あった。用紙については県のホームページからダウンロードが可能にしていただきたい。広域支援センターと市町での認識の違いがあるため、派遣体制について再度確認を行いたい。 |
| **来年度の事業実施予定（考え方等）** | 今年度から引き続き、各関係機関と連携を図り事業を実施していく。<br>今後の情勢が不透明であるため、具体的な計画は次年度の契約内容に沿って検討したい。 |